

*** 東京天文台 100周年記念誌資料 (写真いろいろ) (100周年記念誌資料 2-20)**

アーカイブ新聞第349号(2011年6月11日)に「東京天文台100周年記念誌作成時の資料ーその2ー」という記事を書いた。この号では資料のリストを紹介したのみであった。100周年記念誌資料について、その具体的資料の紹介を続けている。今回は第349号の「ーその2ーの20」にリストアップされている写真を紹介する。

アーカイブ新聞349号に次のように書かれた20)のリストは、次のようである。

20) 岡山天文台と三鷹北館(2006年7月25日谷川)と書かれた封筒(フジカラープリント)

1. 乗鞍の氷漬けの写真
2. ゴーチェ子午環の写真
3. 塔望遠鏡シーロスタットの写真
4. 岡山36インチドームの写真
5. 鴨方からとった遥照山系の写真
6. 岡山74インチドーム建設中の写真
7. 竹林寺山航空写真
8. 竹林寺山航空写真
9. 岡山駐車場辺りから撮った写真
10. 竹林寺山航空写真
11. 岡山36インチドーム、保税倉庫写真
12. 岡山工事中の7枚連続写真
13. 岡山36インチ74インチドーム写真
14. 岡山ドームに上る人の写真
15. 岡山副鏡交換写真
16. 北研竣工の写真11枚一緒の写真
17. 鴨方(六条院)の町の航空写真
18. 岡山遥照山を望む写真
19. 鴨方の町から遥照山を望む写真
20. 岡山竹林寺山を望む写真
21. 六条院南から竹林寺山を望む写真
22. 74インチ、36インチドームの間近からの航空写真
23. 北研竣工時の写真
24. 北研ロビーの写真4枚が張られたもの

25. 乗鞍コロナ観測所の写真 2 枚
 26. 北研竣工時の写真 3 枚 (4 つ切り)
 27. 岡山の道路工事の写真 (航空写真)
 28. 74 インチ望遠鏡と操作卓 (石田五郎)
 29. 岡山 74 インチ 36 インチドームを望む写真
 30. 竹林寺山の航空写真
 31. 竹林寺山の航空写真別角度
- となっている。

1. 乗鞍の氷漬けの写真(写真 1)、2. ゴーチェ子午環の写真(写真 2)



写真 1



写真 2

3. 塔望遠鏡シーロスタットの写真(写真 3)
4. 岡山 36 インチドームの写真(写真 4)

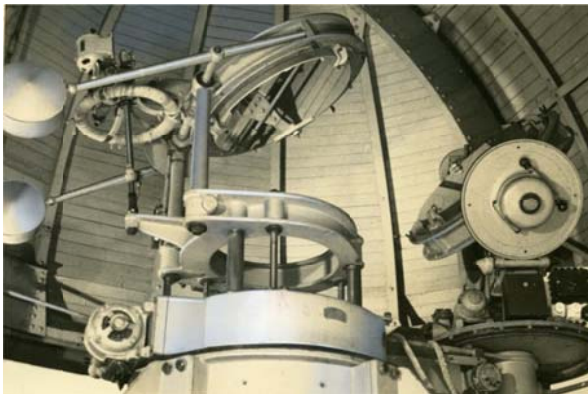


写真 3



写真 4

5. 鴨方からとった遥照山系の写真(写真 5)

5. の写真 5 には、写真 6 のようにトレーシングペーパーがかぶせてあり、左から城山 (鴨方城跡)、鴨方高等学校、竹林寺のお寺、ドーム建設地、鴨方小学校、遥照山、安芸守山、マイクロウェーブと書かれており、写真の左下の道路に「この道路は地図に赤線で」と書かれているがその地図はない。写真 6 では文字が読みにくいので写真 7 に写真に文字を入れたものを作製した。



写真 5



写真 6

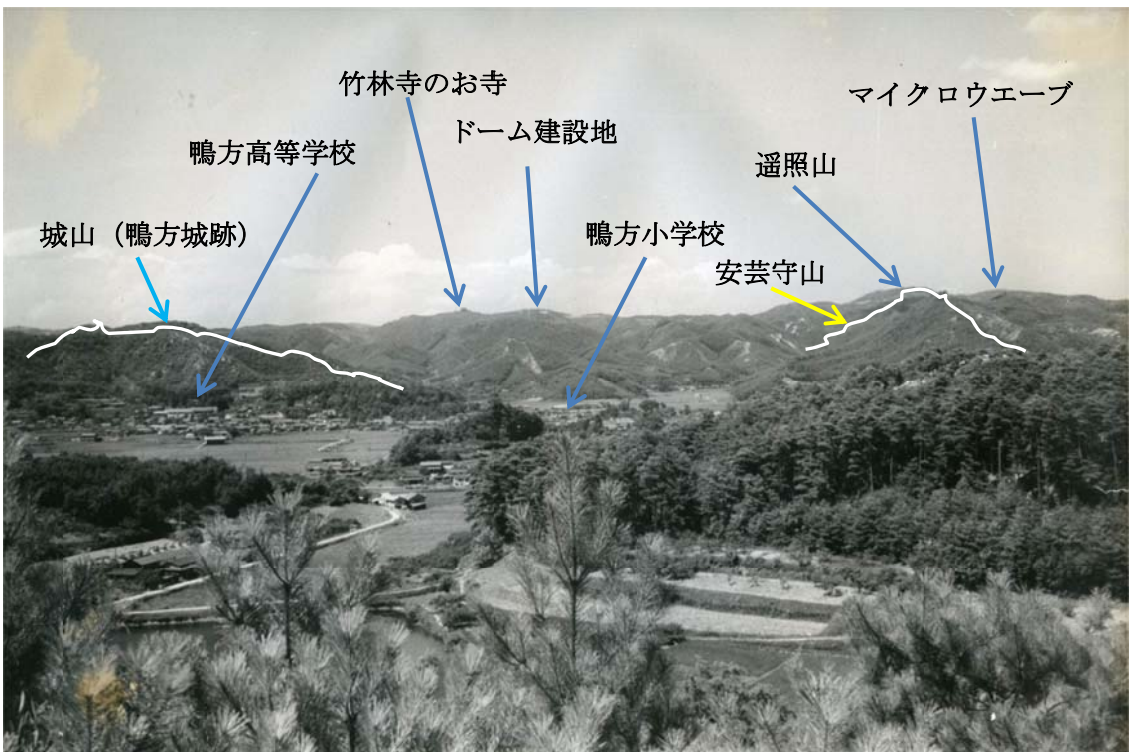


写真 7

6. 岡山 74 インチドーム建設中の写真 (写真 8) 7. 竹林寺山航空写真 (写真 9)



写真 8



写真 9



写真 10

写真 9 にもトレーシングペーパーが載せられ、旧山陽道、小田川、阿部山、5 (池)、7 竹林寺、9 74”竹林寺山と記されている (写真 10)。写真 10 ではわかりにくいので、それらを入れた写真 11 を作製した。



写真 11

8. 竹林寺山航空写真 (写真 12)、9. 岡山駐車場辺りから撮った写真 (写真 14)

写真 12 にもトレーシングペーパーが載せてあり、右端の地名「地頭上」、中央左の峠「地蔵峠」中央下の煙が立ち上っている場所に「9 74”竹林寺山」と記されている (写真 13)。立ち上っている煙は、74”建設予定地の木々を伐採して燃やしているところだろう。



写真 12

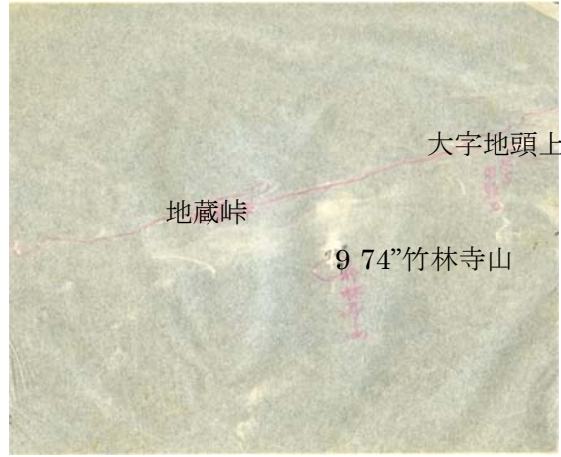


写真 13



写真 14



写真 15

写真 14 は 3 枚の写真を張り合わせたもので、裏のメモ（写真 15）には右の写真には「遥照山より西を望む」、左の写真は「遥照山より 74 ドームを望む」とあり、「9 岡山駐車場辺りから撮った写真」というのは誤りで、これは遥照山山頂近くの写真である。

10. 竹林寺山航空写真(写真 16)

竹林寺山航空写真（写真 16）、この写真にもトレーシングペーパーが載せてあり、「中山」、
「奥山田」、「卍*竹林寺（*：鳥居の記号）」、右下の池に「6」と書かれている（写真 17）。
写真 17 に書かれている地名「奥山田」は矢掛町奥山田であるが、奥山田という地名はいかにも山奥の集落をイメージさせるということで、岡山天体物理観測所が開所して、しばらくして「南山田」と改名された。



写真 16



写真 17

11. 岡山 36 吋ドーム保税倉庫写真、12. 岡山工事中の 7 枚連続写真

岡山 36 吋ドーム保税倉庫写真（写真 18）には保税倉庫は 2 棟立っているが、筆者の知っているのは左の大きい方のみである。写真 19 は、写真を 7 枚繋いで貼ったもので、左から 74” ドームに向かう道路、百葉箱の右に 36” ドームの足場、その右手の道路は本館予定地に登る道路、右端の道路は登ってくる道路である。



写真 18



写真 19

ここまでの写真は、岡山天体物理観測所の建設初期の写真であるが、次の写真は、ほぼ工事が終わった段階の写真となっている。順不同で封筒に詰められたようだ。

13. 岡山 36 吋 74 吋ドーム写真（写真 20）、14. 岡山ドームに上る人の写真（写真 21）



写真 20



写真 21

15. 岡山副鏡交換写真 (写真 22)、16. 北研竣工の写真 11 枚一緒の写真 (写真 23)

写真 22 は、岡山天体物理観測所が完成して、74” 望遠鏡の副鏡交換作業の写真である。鏡筒に登って副鏡取り付けユニットを押している人物は、今は亡き乗本祐慈氏、写真上部のニュートン観測台をクレーンとして使っており、それを操作しているのは筆者、鏡筒の中にいる 3 人は、野口猛、岡田隆史、渡辺悦二の各氏であろう。そうであるなら、この写真は昭和 37 年 (1962 年) 以降の写真である。写真 23 の 11 枚の写真はそれぞれの写真としても取り込んであるので、単独の写真としても使用できる。



写真 22



写真 23

17. 鴨方（六条院）の町の航空写真（写真 24）、18. 岡山遥照山を望む写真（写真 25）



写真 24 ②

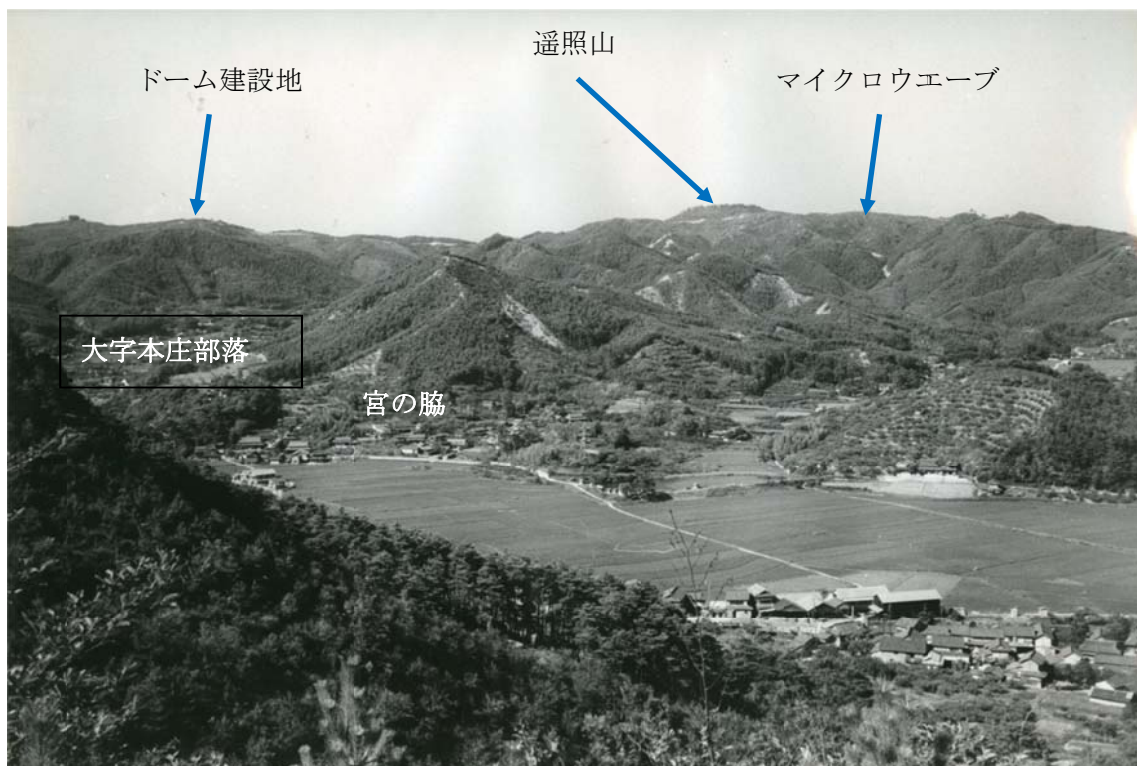


写真 25 ⑤

19. 鴨方の町から遥照山を望む写真(写真 26)、20. 岡山竹林寺山を望む写真(写真 27)



写真 26 ④

写真 25 はリストにないが、鴨方城跡から南の官舎予定地、天草池を撮ったものである。



写真 27 ⑥

21. 六条院南から竹林寺山を望む写真(写真 28)

鴨方駅は六条院にあり、鴨方の町は山陽本線の北側にある。



写真 28 ①

22. 74 インチ、36 インチドームの間近からの航空写真(写真 29)



写真 29

23. 北研竣工時の写真(写真 30)



写真 30

24. 北研ロビーの写真 4 枚を張られたもの(写真 31)



写真 31

25. 乗鞍コロナ観測所の写真2枚(写真32、33)



写真 32



写真 33

26. 北研竣工時の写真3枚(4つ切り) (写真34、35、36)



写真 34



写真 35



写真 36

27. 岡山の道路工事の写真(航空写真)(写真37)



写真 37

28. 74インチ望遠鏡と操作卓(石田五郎) (写真 38)

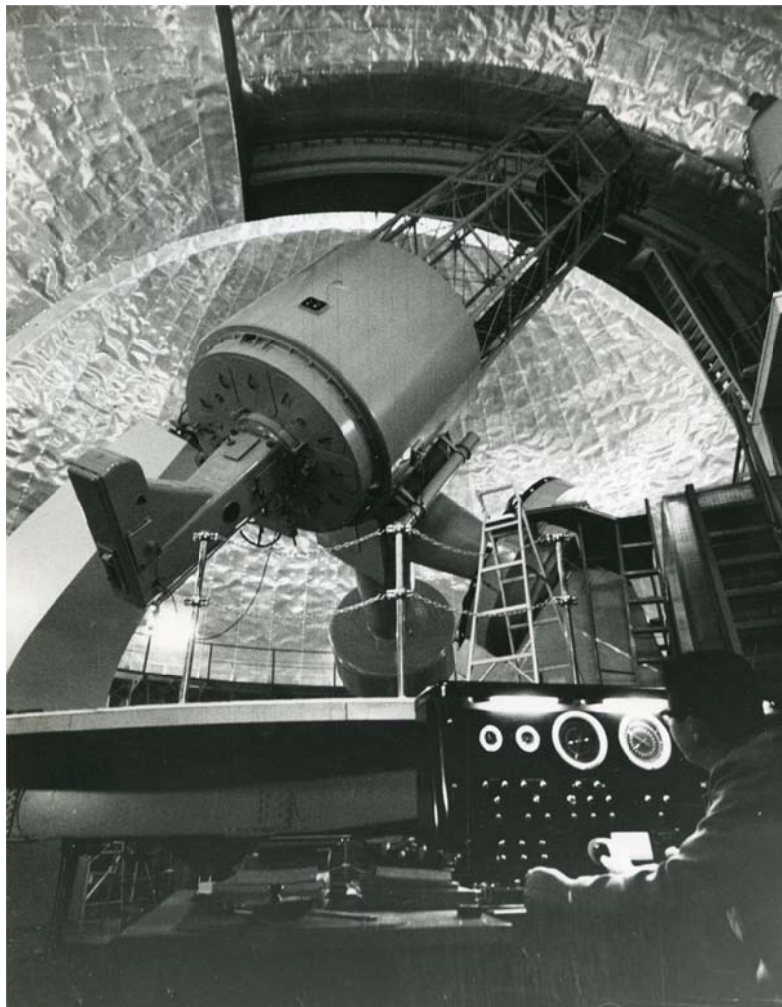


写真 38

29. 岡山 74インチ 36インチドームを望む写真(写真 39)



写真 39

30. 竹林寺山の航空写真（写真 40）



写真 40

31. 竹林寺山の航空写真別角度（写真 41）



写真 41

この号の岡山天体物理観測所建設前の鴨方町、遥照山、竹林寺山の様子がわかる写真は貴重なものとして残していきたいと思う。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp